

# 【 2018 アジア選手権 】

2018年1月18日～1月28日 韓国・水源

## 試合結果報告 1 月 22 日 ( 火 )

J P N	VS	QAT(カタール)
9	前半	19
14	後半	21
23	合計	40

### 個人得点

名前	前半	後半	7mTC	合計
佐々木 亮輔	0	0		0
宮崎 大輔	0	0		0
笠原 謙哉	0	0		0
小賀野 龍也	0	0		0
部井久 アダム 勇樹	0	3		3
甲斐 昭人	0	0		0
植垣 健人	1	0		1
成田 幸平	0	2		2
徳田 新之介	1	2		3
渡部 仁	1	1		2
土井 レミイ 杏利	1	1		2
信太 弘樹	3	0		3
元木 博紀	0	3		3
玉川 裕康	0	1		1
東江 雄斗	2	1		3
門山 哲也	0	0		0
合計	9	14	0	23

### 戦評

メインラウンド初戦はアジアNo.1の実力を誇るカタールとの一戦。日本はベンチインのメンバーを変更して試合に臨んだ。酒井に代わり小賀野を登録し、守備の選択肢を増やした日本。開始早々に失点を許すも土井、渡部の両ウイング陣がシュートを叩き込み2連取と上々の滑り出し。その後カタールは破壊力抜群の攻撃で展開するが、日本も負けじと反撃する。信太の3連打、東江の連打で前半13分7-8と互角のゲームを展開する。ギアを上げて得意の速攻に持ち込みたい日本だったが、ここから失速してしまう。カタールは攻撃の狙いを6mライン付近へ徹底する。日本のディフェンス陣をバックプレーヤーに引き付けた後、ピボットにボールを散らして弱点を突く攻撃を展開。ここをしのぎたかった日本だが立て続けにシュートを叩き込まれると、嫌なムードが攻撃にも伝染。ミスからのターンオーバーで次々とノーマークシュートを浴び、4連続失点2回、3連続失点1回と一気にリードを許す。なんとか打開策を見出したい日本だが、その後も8分間ノーゴールと厳しい状況へ追い込まれ9-19で前半終了。

「戦術よりも戦う姿勢」そんな言葉がロッカールームに響いた後、10点差を追う日本の後半戦が始まった。出だしからフットワーク良く相手のオフェンスをはじき返してターンオーバーを量産。徳田、成田、玉川、渡部らが立て続けにゴールを決めて、2連取2回と追い上げムードに。すかさずカタールはセーフティファーストでタイムアウトを要求。日本は良い流れを何とか維持したかったが、落着きを取り戻したカタールに再びゲームを支配される。精神的に厳しい状態でのゲームとなったが、次戦以降を考え、全員が集中力を切らさず戦いきった点は評価に値する。23-40と大差はついたが、試合終了のホイッスルが鳴った瞬間から次のUAE戦へ向けての準備はすでに始まっている。

報告記入者 :

吉村 晃